

2015年8月27日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション**サブシー関連の EPCI 遂行会社「EMAS Chiyoda Subsea」社設立に向けた
シンガポール・Ezra 社との基本合意について**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市 代表取締役社長:澁谷 省吾)と Ezra Holdings Limited (本社:シンガポール、以下、「Ezra 社」)は、海中・海底(サブシー)関連の設計・調達・建設・据付(EPCI)業務を遂行する“EMAS Chiyoda Subsea”(以下、「ECS 社」)を運営していくこととして、このたび基本合意に至りましたので、お知らせいたします。

Ezra 社は傘下の EMAS AMC が有するサブシー関連工事専用の特殊船舶を運用し、メキシコ湾、アフリカ、アジア等グローバルにサブシー関連事業を展開しており、今後この EMAS AMC を母体に ECS 社を設立。当社は ECS 社の株式取得と第三者割当増資の引き受けにより 50%出資の持分法適用関連会社としてゆきます。ECS 社は EMAS AMC の事業を継承して事業を開始・展開させることとなります。

当社は 2013 年に策定した中期経営計画の中で、オフショア・アップストリーム事業を成長戦略の1つと位置付け、英国の海洋分野等のコンサル会社 Xodus グループとの資本提携、サブシー関連の基本設計等を行う Xodus Subsea 社の設立等、遂行力強化に向けて着々と施策を実行して参りました。このたびの ECS 社への参画により、当社はサブシー分野の開発・設計フェーズから EPCI フェーズ、さらにはオペレーションフェーズまでの資源開発バリューチェーンの全てのフェーズを遂行できる体制が整うこととなります。

一方で ECS 社においては、同社の培ってきた実績に加えて、千代田・Xodus グループのコンサルティング・設計能力、当社のメジャーを中心とする顧客ネットワークや機器資材の調達力を含む大型プロジェクトの遂行能力を活用することによって、同社の事業を拡大させることを目指して取り組んでいきます。

四方を海に囲まれるわが国の領海内に豊富に埋蔵されている資源を有効活用すべく、政府も「海洋基本計画」の中で日本企業の海洋プラント分野への進出が急務と位置付けております。当社の ECS 社への参画は、日本のエンジニアリング会社として初めてのサブシー関連の EPCI への参入であり、日本独自のエネルギーセキュリティ確保に貢献できるよう挑戦してまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962
URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>